

# 令和2年度 学校自己評価システムシート（県立朝霞西高等学校）

目指す学校像	伸びる朝西 伸ばす朝西 ～確かな学力と豊かな心を育み、君の夢を応援します～
--------	--

重点目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>質の高い授業を展開し「自ら考える力」を育み、学習習慣を確立させる。</li> <li>進路目標を早期に持たせ、多様な進路希望を実現する。</li> <li>規律の順守と学校行事や部活動を通じて、誇りと自信を持たせる。</li> <li>教育活動を保護者・地域に広く開き、信頼される学校づくりを推進する。</li> </ol>
------	---

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	7名
	生徒	3名
	事務局(教職員)	7名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。  
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学校自己評価							
年度目標			年度評価(1月28日現在)				
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度 次年度への課題と改善策	
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業に積極的に参加し、真面目に取り組んでいるが、自ら考え、学習する力を育む授業を工夫して取り組む必要がある。</li> <li>学校運営を円滑にするための組織の見直しや行事の精選および、会議等を減らすなどして労働環境を見直して生徒と向き合う時間の確保に努め、生徒の進路希望実現へ向け、教務部と学年、教科、進路指導部との情報共有を強化する。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①学力および学習に対する意欲の向上を目指し、主体性を持って学ぶ力を育てる魅力ある授業を実現する。</li> <li>②学校運営・環境を整え、生徒の進路希望を実現するために各部署の役割の見直しや年間行事の検証を行う。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①研修会や教科会を通して、授業改善にむけて継続的に検討する機会を設ける。週末課題の在り方を検討する。</li> <li>①本校生徒の実態を踏まえ、新学習指導要領に基づく新教育課程の完成を目指す。</li> <li>②行事終了後に各分掌において課題・反省をあげ、次年度への改善に努める。</li> <li>②教職員が放課後、生徒と向き合う時間を確保できる労働環境を整える。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①授業改善のための研修会後、工夫改善が進み、生徒の授業理解度が高まったか。(アンケート授業理解度80%程度)</li> <li>②新教育課程が完成できたか。</li> <li>②各部署の役割を教職員が理解し、各行事の意義、目的が明確となっており、学校全体で取り組むことができたか。(特に年度当初・学期末・学年末)</li> <li>②会議や委員会等を必要最低限に抑え、生徒と向き合う時間の確保に努めたか。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①授業評価アンケートを2回実施。課題への取り組み97.1%、授業の理解度84%で、生徒の授業への態度、満足度を確認できた。授業研修会、教科会を実施し、全教員で授業改善の意識を高めた。</li> <li>②新教育課程を完成させた。</li> <li>②コロナで行事予定を大幅に変更せざるを得なかったが、授業の補填に最大限努めつつ、行事もできる限り実施する方向で共通理解を持って進めた。</li> <li>②職員会議を2週間に1度のペースで実施するよう調整し、実施場所や資料配付の方法を工夫することで、会議時間を短縮し、教職員の生徒への時間の確保に努めた。</li> </ol>	A	<ol style="list-style-type: none"> <li>①さらなる授業改善に向けて、継続して研修会、教科会の充実を図る。</li> <li>②県から指摘を受けた数カ所の検討を行い、新教育課程への速やかな移行に努める。</li> <li>②今年度の課題を検証し、全職員で共通意識を持って行事に臨める体制作りを努める。</li> <li>②会議、委員会の在り方のさらなる検討を行い、授業の準備や生徒への時間確保に努める。</li> </ol>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>多様な進路希望に対応するため、きめ細やかな指導を行っている。</li> <li>将来を見据えた堅実な進路選択の促しと、より高い目標への挑戦に向けた意欲の喚起、行動への促しが課題。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①進路意識の向上を促し、個々の成長に繋がる具体的な目標設定や選択を支援する。</li> <li>②第一志望に向けた自発的継続的な行動を促し、実現できる学力の育成を行う。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①進路目標を早期に持たせるべく、生徒主体型ガイダンスを増やす。</li> <li>①学校全体で最新情報を共有し、生徒の指導に活かせる校内研修を実施する。</li> <li>②学年や保護者と連携し、学習意欲の喚起や学習習慣の定着を図る。</li> <li>②分析できる模試計画を立て、結果の振り返りや面談で活用する。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①グループワークや発表といった生徒主体のガイダンスが実施できたか。</li> <li>①初任者が外部研修会に参加できたか。</li> <li>①生徒の実態に合わせた事例提供や改善等の話し合いが教員間で出来たか。</li> <li>②ホームページに進路行事を掲載後、保護者に一斉送信で知らせることができたか。</li> <li>②スカイプの1配信あたりの視聴時間が昨年度より伸びたか。</li> <li>②ベネッセのCOMPASを活用できたか。</li> <li>②具体的な数値で情報提供できたか。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①コロナの影響で軒並み中止となったが、2学期に2回(1年で人生すごろく、3年でSDGsのグループワーク)実施できた。また2年では探究の時間を活用し「自分のことを自分の言葉で表現する」というテーマで書く指導を7回実施した。</li> <li>①オンラインでの研修会を案内し、動画をみる形式で呼びかけできた。</li> <li>①情報提供は職員会議で適宜実施したが、話し合いの時間は1学期2回実施した。3学期3回実施予定。</li> <li>②模試の案内は一斉配信できた。行事については計画と変更することが多く、コロナ関連の一斉メールも多かったため、混乱を避けるため配信は控えた。</li> <li>②休業中の視聴時間は良好だったが、学校が再開されると昨年度並みに戻ってしまった。</li> <li>②教員研修会等で活用法については周知できたが、タブレットに間に合わず面談時にCOMPASを活用しきれなかったが、生徒向けの振り返り会を1年夏休み後に1回、2年夏休み後と冬休み前の2回実施した。</li> <li>②必要な生徒には個別に印刷して情報提供した。保護者会や教員への情報提供は資料配布して実施できた。</li> </ol>	A	<ol style="list-style-type: none"> <li>①探究の時間を活用し、生徒主体型ガイダンスを計画・実施する。</li> <li>②到達度テストをベースとしたスタディサプリの活用を再検討し、家庭学習時間を増やす取り組みを構築する。</li> <li>②模試を同じ業者で統一し、分析できる環境を整える。</li> <li>また、教室でもコンパスを使える環境を整えてもらう。</li> <li>教員研修会、生徒向け振り返り会は引き続き実施する。</li> </ol>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な生活習慣の確立や規範意識の向上など、本校生徒の変化(飛躍的改善)には目を見張るものがある。これまでの取り組みの意義を明確にし、それを継承する。</li> <li>上記の到達点を踏まえて、生徒の自主性や自律性、コミュニケーション能力、自己肯定感、他者・社会との関係における主体者意識などを育てたい。</li> <li>「社会で活躍できる人間の育成」をテーマに、全教職員が生徒指導のあり方を考え、協力して取り組み、生徒が充実した体験を積み上げて、深い母校愛を感じられる学校を創る。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①生徒指導に関する教職員の共通理解と組織的な取り組みで、生徒の規範意識を育み、それを基盤に生徒の全般的成長を図る。</li> <li>②個々の生徒と向き合う生徒指導を展開し、学校行事・生徒会活動・部活動などを活性化させて、生徒が自分で考え、行動し、活躍して、自分に自信をつけていく機会と場を増やす。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①年度当初に、学校全体、学年の生徒指導方針とマニュアルを作成。情報交換を密にして、必要な見直しも怠らず、適切な指導を展開する。</li> <li>①規範指導の一環として、8時35分チャイム着席指導を重点課題とし継続する。</li> <li>②生徒の話をよく聞く。考えさせる指導を心がける。</li> <li>②学校行事や部活動に全力で取り組ませて、学校生活の充実感や満足感を高める。</li> <li>②生徒会活動で、これまでの諸行事に加え、学校作り積極的に関わる活動を組織。生徒の自主・自律・主体者意識を育てる。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①教職員の生徒指導に関する共通理解を深め、組織的な取り組みをする体制を作れたか。</li> <li>①8時35分チャイム着席指導などを通じて、遅刻数をさらに減らし(500以下)、規範意識の一層の向上を図れたか。</li> <li>②コロナ対応という特別な状況に対応した学校行事・部活動を工夫できたか。</li> <li>②自主・自律・主体者意識向上につながる生徒会活動に取り組めたか。</li> <li>②学校生活アンケートで生徒の満足度=80%以上という高水準を維持し得たか。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①年度当初に生徒指導方針・基準を作成。日常的に情報交換を密にし、時々に必要な生徒指導に迅速に取り組んだ。今年度の懲戒指導事例をゼロに収めることができた。</li> <li>①8時35分にはほぼ全生徒が昇降口を通過。コロナ禍の変則的な登校にもかかわらず、35分HR着席指導の定着を進め、遅刻数目標(500以下)もほぼ達成した。</li> <li>②部活動は、コロナ禍で大きく制限されたが、各々が工夫。加入率を引き上げるとともに、多くの部が県大出場などの成果を上げた。</li> <li>②生徒会は、要求アンケートによる学校作り活動や、従来の文化祭に代わる独自の「朝西芸術祭」を創造する(生徒の99%が満足)など、画期的な活動を展開した。</li> <li>②全体として、生徒の自主性・自律性・主体者意識を育てる教育活動が推進された。</li> </ol>	A	<ol style="list-style-type: none"> <li>①基本的な生活習慣の確立や規範意識の向上は、飛躍的に進んだ。しかし、教員の働きかけが欠ければ、途端に崩れかねない脆弱な面もある。これまでの取り組みの意義を重ねて確認し、継承していく必要がある。</li> <li>②生徒の自主性・自律性・主体者意識を育てる取り組みは、授業や生徒会などさまざまな点で進められ、それぞれに成果を上げている。現状は、教員の取り組み次第という状況でもあるが、取り組みの積み重ねで、やがて生徒自身の真に自律した力となっていくことを期待したい。</li> </ol>
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>HP、週報、学校案内等を通じて生徒・保護者・近隣地域、各中学校などに本校の活動内容を広報している。</li> <li>朝西見学会、部活動体験会については、より効果的に実施できるよう内容を見直して実施していく必要がある。</li> <li>新型コロナウイルス感染症拡大に伴い従来通りの広報活動が難しくなっている。この状況下で効果的に伝える方策を検討し実施する必要がある。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①本校の教育活動や活動の成果を広く広報し、各方面の本校への理解を深める。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①HPの内容を精査し、より閲覧者のニーズに応える内容、速報性の高い内容にしていく。</li> <li>①週報は、感染症の拡大状況・生徒の登校状況に合わせて、適切な時期・回数を発行する。</li> <li>①朝西見学会については、HPや新規動画作成ソフト等を用いて感染症に配慮した方式を検討していく。</li> <li>①新入生にアンケート調査を実施し、管理職と連携して分析、生徒募集に活用する。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①HPの環境を維持し、適切に運用できたか。</li> <li>①週報を適切に発行できたか。また充実した内容にできたか。</li> <li>①朝西見学会と部活動体験会を感染症拡大防止に配慮した形で適切に実施できたか。参加者アンケートでの満足度80%以上。</li> <li>①新入生へのアンケート結果を分析し、生徒募集に有効に活用できたか。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①HPの精選を行い、また感染症に対応する新たな学校説明会の運営方法に、効果的に活用することができた。</li> <li>①感染症拡大に配慮しつつ、積極的に学校見学会を開催することができた。(満足度90%以上達成)またコロナ禍において、個別相談会や学校紹介動画など、新たな取り組みも行った。</li> </ol>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種アンケートの分析結果を、より具体的な方策として活用していきたい。</li> <li>生徒指導部や進路指導部、生徒会指導部等とより連携し、本校の取り組みをさらに具体的に発信していきたい。</li> </ul>

学校関係者評価
実施日 令和3年2月8日
学校関係者からの意見・要望・評価等
<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍で授業時間の減少にも関わらず、研修会や教科会、少人数指導等による授業改善が進められており、生徒アンケートの授業理解度は高いが、定期テストの平均点が理解度と結びついていないと感じる。教員のレベルアップがそのまま生徒のレベルアップに繋がる。更なる授業改善に期待する。</li> <li>授業評価アンケートの経年比較等は行われているか。その結果・方法を知りたい。</li> <li>IT等を活用して、教職員の働き方改革を推進し、教職員の心の余裕を確保し更に生徒への対応時間増を期待する。</li> <li>進学から就職まで幅広い進路目標がある学校として色々な見識を深める取り組みが感じられる。</li> <li>生徒に対する進路アドバイスはきめ細やかに行っている。進路指導は親子で共通理解の下で進める必要があるが、低学年ほど進路情報が保護者に渡っていない状況が見られる。入学試験の変化に伴い、保護者へのタイムリーな情報発信を行って不安解消の一助をお願いしたい。</li> <li>コロナの影響で出来なかった事もあると思うが目標達成に向けた意欲の喚起を行って欲しい。</li> <li>家庭学習時間は、貴校における大きな課題と考える。進路意識をより明確に持たせて継続させる取組が必要。</li> <li>スタディサプリの配信内容について、発展的な内容が多いようだが、基礎をかためる内容の配信もあるとあきらめず継続して視聴できるのではないかと。評価指標に対して、達成状況で具体的な数値を知りたい。</li> <li>生徒は規律を良く守っていると感じる。社会におけるルール遵守は学生時代にしっかりと身につけて欲しい。登下校の際、スマホを見ながら歩いている生徒は以前より増えている気がする。</li> <li>朝西芸術祭は、作品を出品や応募という目標もあり、すばらしい取組で、メディアに取り上げられる等新しいスタイルの文化祭だと感じた。夏休中の制作で関わり不十分な生徒もいた点は残念。</li> <li>生徒の自主性・自律性を育てるためには、先生方の十分な説明があり、生徒が理解と納得することが必要で、芸術祭以降その高まりを感じた。自販機の商品など生徒の要望を真摯に受けとめて対応している。俗にいうブラック校則はないか、アンケートを取ってみるのも良いと思う。</li> <li>HPは、見やすくなり情報提供もタイムリーでView回数も増えている。プライバシーなど掲載に配慮されているが、更なる充実を期待する。</li> <li>情報発信にはHPをはじめとするSNSが必要不可欠。感染症拡大予防に繋がる情報を発信することを要望する。</li> <li>部活動体験だけでなく、学校紹介動画のように、各部活動の活動が垣間見られるような動画があれば、ぼんやりとしかイメージできない生徒も気軽にみて興味を持つことができるのではないかと。</li> <li>コロナ禍での学校見学会や部活動体験など、状況に配慮して実施したことは評価できる。</li> </ul>